

# Tokyo Kasei Press

## 学園新聞

### 第43号

学校法人 渡辺学園  
発行 総務部総務課  
〒173-8602 東京都板橋区加賀  
1-18-1 電話(3961)5226  
東京家政大学大学院  
東京家政大学短期大学部  
東京家政大学附属女子中学校  
附属女子高等学校・附属女子中学校  
附属みどりヶ丘幼稚園

### 主な内容

- 渡辺学園創立125周年記念 ..... 1面  
2面
- 第46回緑苑祭 ..... 2面
- 開花・気象予報士試験合格  
・国際七宝ジュエリーコンテスト入賞 ..... 3面
- スタート 社会福祉法人緑伸会設立認可 ..... 3面
- 家政大生のキャンパスライフ ..... 4面
- ジアスの活動 ..... 4面

# 渡辺学園創立125周年を迎えて 原点から頂点へ

平成18年10月21日(土) 合同慰霊祭 10月22日(日) 記念式典・祝賀会

### 式典

120周年記念館1階  
in多目的ホール  
11:00~  
12:00

### 祝賀会

85周年記念館3階  
in大体育室  
12:30~  
14:00



記念式典終了後、会場を85周年記念館大体育室に移し、記念祝賀会が盛大に行われた。  
岩井絹江進路支援センター次長の司会により進められ、矢田裕士文学部長の開会のことば、清水理事長の挨拶に続き、大野松茂総務副大臣、石塚輝雄板橋区長、酒井淳東京私学財団理事長・東京女子学院理事長、

柔らかな秋の陽光に恵まれ、120周年記念館1階多目的ホールにおいて、来賓、学園関係者、学内教職員等で約540名余の参会のもと、式典は厳粛の中にも清楚にして簡素に挙行された。  
佐野清克総務部主幹の司会により、始めにフラウエンコール・マンドリンクラブによる校歌の斉唱、木元幸一家政学部長の開会のことばの後、清水司理事長の式辞、伊吹文明文部科学大臣(磯田文雄私学部長代読)、鳥居泰彦日本私立学校振興・共済事業団理事長、大沼淳日本私立大学協会会長、佐藤弘毅日本私立短期大学協会副会長の各氏から祝辞を頂いた。

祝賀会は、ハンドベル同好会及び緑窓マンドリンアンサンブル(OG会)の演奏の中、理事長、学長が各テーブルをまわり、参会者に御礼の挨拶をされるなど、華やかなうちにも和やかに歓談が行われた。片岡学長の謝辞、矢田文学部長の開会のことばにより散会となった。

「これまでの男子中心社会から脱却し、女子も独り立ちができ、女子の特色、特性を生かして男子とともに、より良い社会を築く力とならねばならない」という強い思いを抱かれ、本学園を設立した。「国際化、情報化が急速に進み、価値観も多様化しつつある、これから

校祖渡辺辰五郎先生は「これまでの男子中心社会から脱却し、女子も独り立ちができ、女子の特色、特性を生かして男子とともに、より良い社会を築く力とならねばならない」という強い思いを抱かれ、本学園を設立した。「国際化、情報化が急速に進み、価値観も多様化しつつある、これから

次いで、来賓者披露、祝電披露が行われ、最後に片岡輝学長の謝辞、木元家政学部長の開会のことばをもつて滞りなく終了した。  
清水理事長は式辞の中で以下のように述べ、本学園の21世紀に向けての決意を新たに示した。

### 渡辺学園 創立125



会場には、関係者から贈られた花が多数飾られ、「写真で見ると125年史」と題してパネル展示も行われ、参会者は熱心に見入っていた。

「変化の激しい社会を力強く生き抜く力を、子供達に如何にして与えなければならぬか」が教育界の重要な課題である。ここで「あらためて校祖の願いを思い起こし、本学園が21世紀という変化の激しい不透明な時代に立派に生きることが出来る女性を育てるとともに、生涯を通じて、社会人としてまた家庭人としても立派にその務めを果たすことが出来るよう、本学園はそのための誓」となる。

また、鳥居私学事業団理事長は祝辞の中で、本学の校歌の一節「われら若きこの日を たゆみなくいざやはげまん」に触れて、「この『若き日』を大切にすること、学校教育の中で、公教育でも私学教育でも、そして小学校から大学まで、一番失われつつある考え方の一つではないか。人間、一度しかない少年時代、青年時代、そのときにこそ自分を磨かなければならない。まさに、その自分を磨く唯一の時期に学校に身を置かして貰うことの有難さ、そ

れを思うということがいかに大切かを、この校歌は謳っていると思う。そして、そのようにこの学園の幼稚園から大学までの教育、渡辺学園の教育が行われていることを考えると、非常に重要な存在意義を持った学校である、そして、社会はそれを見習うべきであると思う」と述べられた。

また、片岡学長は、今後の学園の取り組みとして、以下のように述べた。  
大学・短大では、「隣接国有地の取得予定に伴う板橋・狭山キャンパスの再編」と時代の要請に応える改組と転換を含む改革を断々と進め、学生本位の教育、地域への貢献、産学連携研究を基盤として、カレッジインパクトの時代を切り切る。

また、片岡学長は、今後の学園の取り組みとして、以下のように述べた。  
大学・短大では、「隣接国有地の取得予定に伴う板橋・狭山キャンパスの再編」と時代の要請に応える改組と転換を含む改革を断々と進め、学生本位の教育、地域への貢献、産学連携研究を基盤として、カレッジインパクトの時代を切り切る。

また、片岡学長は、今後の学園の取り組みとして、以下のように述べた。  
大学・短大では、「隣接国有地の取得予定に伴う板橋・狭山キャンパスの再編」と時代の要請に応える改組と転換を含む改革を断々と進め、学生本位の教育、地域への貢献、産学連携研究を基盤として、カレッジインパクトの時代を切り切る。



合同慰霊祭は、森谷哲附属女子高校教頭の司会により、無宗教で執り行われ、佐野清克総務部主幹の開会の辞、保坂克二人事課長による物故者の読上げ、1分間の黙祷の後、清水理事長及び卒業生代表として緑窓会の齋藤禮子会長がそれぞれ追悼の言葉を述べられた。その後、理事長以下学長、校長、園長、ご遺族代表、卒業生代表、在校生代表の献花が始まり、次いで一般参列者の献花が終わり、佐野総務部主幹の開会の辞を以つて、午後2時30分に滞りなく終了した。参列者は、200名余であった。

合同慰霊祭は、森谷哲附属女子高校教頭の司会により、無宗教で執り行われ、佐野清克総務部主幹の開会の辞、保坂克二人事課長による物故者の読上げ、1分間の黙祷の後、清水理事長及び卒業生代表として緑窓会の齋藤禮子会長がそれぞれ追悼の言葉を述べられた。その後、理事長以下学長、校長、園長、ご遺族代表、卒業生代表、在校生代表の献花が始まり、次いで一般参列者の献花が終わり、佐野総務部主幹の開会の辞を以つて、午後2時30分に滞りなく終了した。参列者は、200名余であった。

合同慰霊祭は、森谷哲附属女子高校教頭の司会により、無宗教で執り行われ、佐野清克総務部主幹の開会の辞、保坂克二人事課長による物故者の読上げ、1分間の黙祷の後、清水理事長及び卒業生代表として緑窓会の齋藤禮子会長がそれぞれ追悼の言葉を述べられた。その後、理事長以下学長、校長、園長、ご遺族代表、卒業生代表、在校生代表の献花が始まり、次いで一般参列者の献花が終わり、佐野総務部主幹の開会の辞を以つて、午後2時30分に滞りなく終了した。参列者は、200名余であった。

現場で教鞭をとる緑窓教育会「緑育会」会員(家政学部)と大学関係者が集い、式典当日、祝賀会終了後、第1回懇談会が開催された。  
木元家政学部長の司会により、参加者全員による自己紹介と現状報告があった。最近の教員養成制度の現状と免許制度の議論を踏まえ、現場の状況、自己研鑽の日々等、情報交換を交えて、予定時間を1時間程オーバーするなど熱のこもった質問となった。

合同慰霊祭は、森谷哲附属女子高校教頭の司会により、無宗教で執り行われ、佐野清克総務部主幹の開会の辞、保坂克二人事課長による物故者の読上げ、1分間の黙祷の後、清水理事長及び卒業生代表として緑窓会の齋藤禮子会長がそれぞれ追悼の言葉を述べられた。その後、理事長以下学長、校長、園長、ご遺族代表、卒業生代表、在校生代表の献花が始まり、次いで一般参列者の献花が終わり、佐野総務部主幹の開会の辞を以つて、午後2時30分に滞りなく終了した。参列者は、200名余であった。

合同慰霊祭は、森谷哲附属女子高校教頭の司会により、無宗教で執り行われ、佐野清克総務部主幹の開会の辞、保坂克二人事課長による物故者の読上げ、1分間の黙祷の後、清水理事長及び卒業生代表として緑窓会の齋藤禮子会長がそれぞれ追悼の言葉を述べられた。その後、理事長以下学長、校長、園長、ご遺族代表、卒業生代表、在校生代表の献花が始まり、次いで一般参列者の献花が終わり、佐野総務部主幹の開会の辞を以つて、午後2時30分に滞りなく終了した。参列者は、200名余であった。

合同慰霊祭は、森谷哲附属女子高校教頭の司会により、無宗教で執り行われ、佐野清克総務部主幹の開会の辞、保坂克二人事課長による物故者の読上げ、1分間の黙祷の後、清水理事長及び卒業生代表として緑窓会の齋藤禮子会長がそれぞれ追悼の言葉を述べられた。その後、理事長以下学長、校長、園長、ご遺族代表、卒業生代表、在校生代表の献花が始まり、次いで一般参列者の献花が終わり、佐野総務部主幹の開会の辞を以つて、午後2時30分に滞りなく終了した。参列者は、200名余であった。







福山学園理事長

# 記念シンポジウム

125周年を記念して緑苑祭当日、各学科・科が企画したシンポジウムが行なわれ、各会場とも盛況に終わった。



Webチャットする学生

10.28. sat

## 児童学科・保育科企画 子どもとお話の世界

13:00~15:30  
120周年記念館3階120-3C講義室

シンポジスト

- 本田和子先生(元お茶ノ水女子大学学長)
- 片岡輝先生(本学学長)
- 大越和孝先生(本学教授)
- 戸田雅美先生(本学助教授)

10.29. sun

## 栄養学科・栄養科企画 癒しの食事論

13:00~15:30  
1号館6階1-6A講義室

シンポジスト

- 二見大介先生(財団法人日本栄養士会専務理事)
- 白石弘美先生(東京慈恵会医科大学付属病院栄養部主事)
- 戸谷ますみ先生(本学教授)

## 服飾美術学科・服飾美術科企画 服飾が支えた125年

14:00~16:00  
120周年記念館3階120-3C講義室

シンポジスト

- 福山正弘氏(学校法人福山学園理事長)
- 大石智恵子氏(前本学理事S25女専卒)
- 藤井日和氏(ライオン株H8大被服卒)
- 山田民子氏(本学助教授S46大被服卒)

## 造形表現学科企画

### 公開講座 ブルガリヤの草木染め

13:00~15:00  
7号館1階ファッションコミュニケーションデザイン実習室  
講師:佐藤千香子先生

### 公開ワークショップ ろくろを使わない陶芸

13:00~16:00  
7号館1階第1陶芸実習室  
講師:陶芸作家・板橋廣美先生

## 国際コミュニケーション科企画

### ニュージーランド国立ワイカト大学学生とのWebチャットによる交流

Sat 11:00~12:00 10号館4階104CALL教室 Sun 11:00~12:00

125周年事業の締めくくりは「お祭り」緑苑祭! 燃え尽きた実行委員長(大学)と生徒会会長(高校)にインタビューしてみました。緑苑祭当日を迎えるまで、苦労したことは?

例年とは違う企画を用意したことで、立案から実行するまでにとっても時間を費やし、苦労しました。また、お互いの情報伝達・行動等、人を動かす為の説得力・まとめあげる事の大切さを痛感しました。

企画したペットボトルアートに使用するペットボトルがなかなか集まらず苦労



踊り上げられ\*白二十五年ノ華  
10月28日(土)29日(日)  
於 飯橋校舎

しました。役員も部活動との両立が大変でした。実行委員・生徒会役員としてやりがいがあったことを教えてください。

私達が考えた企画に多くの来場者の方々が参加し、興味をもって頂けたことは、とてもやりがいを感じました。

ペットボトルアートの製作と玄関の飾り付けは、とても大変でしたので当日までに完成出来るのか不安でしたが、完成した時には皆さんからお褒めの言葉を頂き、このような企画をして良かったと思いました。



当日、一番印象に残ったことを教えてください。

快晴の2日間でも多くの来場者に恵まれたこと、各企画について実行委員各自が責任を持って行動したこと、学園祭が成功出来ました。また、特設ステージでのミスコンや団体の発表が行えたことは、とても良かったです。

今年は、125周年という大事な節目の年であったこと、開会のテープカットが盛大に行われたことが印象に残りました。

緑苑祭を終えての感想を。緑苑祭が快晴のもと2日間開幕することが出来、ありがとうございました。間開幕することが出来、ありがとうございました。

開幕までの約半年間は、皆忙しい中、成功に向けて華のある企画の立案・実行に力を尽くし、この125周年を迎える家政大学とそこに居る学生の魅力も引き出せればと思ひ、一丸となって頑張りました。また、私に足りないところを皆に助けられて達成出来たこと、自らを省みることの多い日々でした。

開幕後は先生方、団体の緑苑祭係りの人達、実行委員を支えて下さった方々へ

の感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。今年は、例年とは違った企画をしようと生徒会役員で話し合い「ペットボトルアート」を製作することにしました。7月から進め方について検討し、全校生徒にペットボトル集めに協力してもらいました。緑苑祭の一週間前からは、毎日遅くまで学校に残って製作しました。終了まで休む暇もないくらい大変でしたので、大イベントが終わった今では、無事成功することが出来て良かったなとホッとしています。

次回へのメッセージを。創立125周年を迎える大学は数少なく、その一つが東京家政大学であり、また新たな歴史の一ページを描くことのできる実行委員。



ケーキ完成!

聞き手・記者  
大学実行委員長  
大3栄養 松岡暉  
高校生徒会長  
高2C 矢嶋加奈



特別企画展  
10/19~11/16迄  
十二単着装体験にはたくさんの応募があり、抽選により幸運な「お姫様」が誕生した。

施設公開  
式典当日は、来賓者のための見学施設として、博物館特別企画展「装束と本学の裁縫雛形」雅な装いと技の教え、附属幼稚園、ナースリールーム、図書館の開放を行い、各施設には多数の見学者が訪れました。博物館が展示した装束は、

記念史・記念品  
式典参加者には、「渡辺学園125年史」及び記念品として、ペーパーウェイト(クリスタルルーベ)、博物館特別企画展パンフレット、同記念絵葉書、大学・短期大学紹介DVDなどが贈られました。

在学生や学園関係者には、記念のしおり・マグネットが製作され、配布されました。

大正4年に御即位礼と大嘗祭において皇族親王殿下・妃殿下が御召しになられたもので、当時の宮内省から本学が貸与を受け、その後、教育研究資料として文部省から無償譲与されました。震災や戦災を免れたこれらの装束類は、3年間にわたる順次修復された後、記念すべき今年、展示・公開されました。



## 渡辺学園のあゆみ

校祖渡辺辰五郎が本郷湯島の地に「女性に技を身につけ、その技を通して社会的自立を圖り、時代の動向を見通していく創造性に富む女性を育てる」ことを目的として「和洋裁縫伝習所」を設立。

東京府の認可を得、「東京裁縫女学校」と改称。

教員志願者増加に伴い、師範科開設。その後一九〇八年には師範科を廃して高等師範科を開設。

創立者の後を継いだ渡辺滋校長が私財を寄付して「財団法人私立東京裁縫女学校」を設立。

「東京女子専門学校」を設立。翌年、関東大震災で校舎・寄宿舎を全部消失。仮設校舎で授業を続ける。

「財団法人渡辺学園」と改称。創立五〇周年記念式典挙行政。

東京裁縫女学校を「渡辺女学校」と改称。

「渡辺高等女学校」設立。

東京大空襲で再び校舎消失し、一九四六年新校地(板橋)移転。

新制による渡辺女子中学校設置認可。

新制の渡辺学園女子高等学校設置認可(全日制普通課程及び同職業課程)。

「東京家政大学(家政学部生活科学科児童栄養専攻、被服専攻)」設置認可。

法人組織を改め「学校法人学渡辺学園」と変更認可。

大学・短大とも栄養士養成施設指定を受ける。

東京家政大学付属みどりヶ丘幼稚園(二年保育)設置認可。

東京家政大学家政学部学科増設。(生活科学科を廃し、児童学科・栄養学科・服飾美術学科を設ける。)大学児童学科、短大保育科は幼稚園教諭養成課程の認定を受ける。

大学児童学科、短大保育科は保母養成施設指定を受ける。

- 一九六三
- 一九六二
- 一九五三
- 一九五二
- 一九五一
- 一九五〇
- 一九四八
- 一九四七
- 一九四五
- 一九四一
- 一九三〇
- 一九二二
- 一九二一
- 一九〇六
- 一八九二
- 一八八一



東京裁縫女学校 洋裁授業(大正11年)



講評「日本七宝会議報」より  
 毎日新聞社受賞の「木の芽時」は、気を吐いた作品でした。造形的にいささか平板だという意見もありましたが、19世紀末の沈潜する詩情を想わせる、抑制された色調による木の芽の表現は、新しい才能の登場を感じさせました  
 審査員 京都工芸繊維大学助教授 樋田豊郎氏



毎日新聞社賞を受賞して

新しい才能の登場

開花

私は一年生で履修した地球環境論Iをきっかけに気象に興味を持ちました。元々勉強があまり好きでな

難関突破

平成18年度  
 気象予報士試験  
 家政大初の合格  
 環境情報学科4年  
 武井 朋子さん



かつた私ですが、生活に身近な現象だけに理解が深まるにつれ、ますます気象が好きになっていきました。しかし、気象予報士試験ともなると合格率約5%の難関試験のため、始めは問

創立100周年の記念すべき年に、大輪の花を咲かせた人達がいいます。花を咲かせるまでのお話を伺ってみました。

この度は毎日新聞社賞という賞をいただき、驚きと同時に有り難くうれしく思います。日々、作品の制作に取り組んではおりますが、まだまだ表現も技術も未熟で、自分でも不安に思っている。この応募でしたが、この様に評価いただけたことは大変励みになりました。受賞した「木の芽時(このめどき)」という作品は、まさに春の木の芽吹きを表現しようと制作いたしました。また、私が春という季節に感じる心温まるような気持ちで作品を通して見る人に伝えることができたらと思っております。

た。その度に研究室の先生を始め周囲の方の温かい応援を受け、何とか粘り強く努力し続けることが出来ました。夏・冬休みにも拘わらずこの一年半は毎日研究室で朝から夜までよく勉強しました。この一年半は人生の時間としてはほんの少しの時ですが、最後まで頑張り抜いたことは、これからの私の大きな自信となりました。家政大学に入学して気象に出会い、熱心な先生の下で勉強出来たことは貴重な財産です。研究室の先生を始め私を支えてくださった方々に本当に感謝しています。

いままで、七宝焼きとは焼き上がりの偶然に任せた美しさを楽しみながら気軽に楽しめるものだと思っていました。今回の制作を通して色々な点で難しさを感じました。一つは、色を選ぶということ、色・色の組み合わせ、

第19回国際七宝  
 ジュエリーコンテスト  
 「毎日新聞社賞」受賞  
 造形表現学科教学助手  
 黒崎 理絵子さん  
 (H14年3月卒業)



スタート 社会福祉法人緑伸会設立認可



渡辺学園は、先に板橋区立加賀保育園の民営化移管先事業者に決定しましたが(第41号、4月15日既報)、本学園を設立母体とする社会福祉法人緑伸会が平成18年11月22日、東京都知事から設立認可を受けました。板橋区の「保育じょうほう2007年版」には次のように案内しています。  
 ・集団の中で一人一人を大切に育てます。  
 ・育ちの喜びを保護者と共有します。  
 ・安心して子育ても仕事も楽しめる保育環境を作ります。  
 ・毎日の生活が豊かな食生

「石川梅子(むめ)奨学基金」創設  
 明治41年に本学を卒業した石川梅子(本名・むめ)姉は、現在の県立深谷第一高校に奉職した後、石川裁縫女塾を創立するなど裁縫教育に貢献する傍ら、女流日本画家としても活躍しました。今年7月に梅子姉のご遺族 石川好子様より本学大学院・大学・短大の学生への奨学金として、ご寄付の御申し出がありました。学園ではこのご厚意を受けて「石川梅子(むめ)奨学基金」を創設することとし、9月29日に清水理事長から石川様へ感謝状が送られました。博覧館では平成16年春に「若き石川梅子の日本画―明治末期の本学卒業生」と題し、石川好子様よりご寄贈頂いていた梅子姉の日本画を展示しました。  
 男性中心の社会の中で女性の自立を目指した梅子姉の精神は、女性らしくやさしい色合いの作品の中に時おり見せる凛とした力強い線となつてあらわれています。写真の「あやめ」は梅子姉が18歳のときの作品で、企画展開催時に大好評いただいた作品のひとつです。  
 石川梅子姉と好子様の志とご厚意に深く感謝し、本学学生の勉学の資として役立てていきたいと思います。

「あやめ」(明治41年)

活の体験となる食育を行います。  
 ・東京家政大学は加賀保育園の保育をサポートします。  
 11月28日同法人第一回理事會が開かれ、理事長には片岡輝・東京家政大学学長、園長(施設長)予定者には猪野秀子先生が就任しました。

家政大生の家政大生による地域社会との共生  
 インターハートTokyo-Kasei 茶の間  
 板橋区遊座大山商店街にオープン！ヘルシーメニューは栄養学科、エコシステム作りは環境情報学科、エプロン制作は服飾美術学科、店内の作品は造形表現学科、すみからすみまで家政大尽くし！ 学生が大学での学びを活かしながら社会力を身に付ける場です。みなさん「茶の間」をよろしく！  
 9/23 OPEN!!



創立一〇〇周年記念式典挙行

一九六七 大学栄養学科の専攻分離(栄養学専攻管理栄養士専攻)認可。管理栄養士養成施設の指定を受ける。大学にナースリールーム開設。

一九七〇 大学児童学科の専攻分離(児童学専攻・児童教育専攻)認可。大学児童学科児童教育専攻は小学校教諭養成課程認可を受ける。

一九七一 大学服飾美術科の専攻分離(被服専攻・美術専攻)許可。

一九七三 大学服飾美術学科被服専攻、短大服飾美術科被服コースは衣料管理士養成校の認定を受ける。

一九八一 創立一〇〇周年記念式典挙行。

一九八六 狭山校舎開設。文学部(英語英文学科・心理教育学科)設置認可(一九八五年)。

一九八九 東京家政大学大学院設置認可。家政学研究科修士課程(食物栄養学専攻・被服造形学専攻)。

一九九一 創立一〇〇周年記念式典挙行。

一九九二 大学院家政学研究科修士課程に児童学専攻設置認可。更に、翌年(一九九三年)大学院家政学研究科博士課程に人間生活学専攻設置認可。

一九九四 校祖生誕一五〇周年記念行事挙行。東京家政大学短期大学部に国際コミュニケーション科設置認可。

一九九五 大学院文学研究科修士課程に英語英文学専攻・心理教育学専攻設置認可。一九九六年開校。

一九九六 東京家政大学家政学部環境情報学科は設置認可。一九九七年開設。

二〇〇〇 東京家政大学家政学部児童学科育児支援専攻増設。二〇〇二年開設。

二〇〇一 東京家政大学家政学部造形表現学科設置認可。平成二〇〇三年開設。

二〇〇三 家政学部服飾美術学科服飾専攻を家政学部服飾美術学科に改称。

二〇〇五 (財)大学基準協会から大学基準適合認定を受け、正会員として加盟登録を承認された。

二〇〇六 創立一二五周年記念式典挙行。  
 西暦色分け ●明治 ●大正 ●昭和 ●平成



### 今の自分の大学生生活に点数をつけるとしたら何点ですか?

# 平均 59点

創立125周年を迎えた家政大ですが、125年もの年月が経てば学生のライフスタイルもかなりの変化を遂げたに違いありません。今、東京家政大学の学生はどのようなことを考え、どのような生活をしているのかとても気になると思います。そこで学生代表としてサークル(運動系17団体・文化系32団体)の部長さん49人を対象としてアンケートをとりました。そのアンケート結果をもとに、ちょっとだけその生活をのぞいてみようと思います。

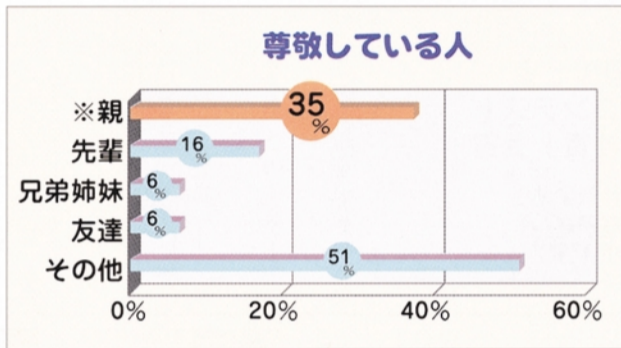
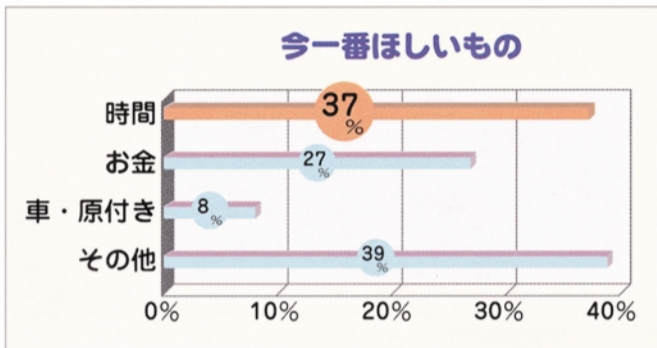
## 家政大生のキャンパスライフ

### 〈平均的な時間の使い方〉

授業以外の勉強	45分		
通学	60分		
食事	朝10分	昼30分	夜30分
入浴	30分		
就寝	0:45		
睡眠	6時間		

### 楽しいこと「友達と会う」7割以上が回答

アンケートをとった対象者がサークルの部長さんということもあり、時間に追われる忙しい毎日を送っていることが予想されました。しかし実際は右の表(平均的な時間の使い方)を見てもわかるように、時間を上手に使い、余裕をもって生活している方が多いようです。さすがサークルの部長さん、サークルだけでなく自己管理もしっかりしているんですね。アンケートの「大学生生活で楽しいことは何ですか?」という質問に、実に71%(35人)の学生が友達と会うこと・おしゃべりすること、と回答していました。反対に「大学生活で辛いことは何ですか?」という質問には67%(33人)の学生が授業や補講、レポートや課題、と回答していました。また、自分の大学生活に100点満点で点数をつけていた点と、その平均点は59点と、意外に低い点数となりました。これはおそらく、それだけ自分の目標を高く持ち、向上心のある学生が多いということも物語っているのではないのでしょうか?学生のキャンパスライフもこの125年の間に少しずつ変化を遂げてきたに違いありませんが、勉強やサークルなどいろいろなことに一生懸命取り組む姿はいつの時代も変わっていないこと



【「その他」の回答】注：複数回答あり

- 余裕
- 頑張る精神
- 手帳
- コンタクトレンズ
- CD
- 服やバック
- 任天堂DS
- 充実感
- 集中力
- 計画性
- 気持ちの安定
- 就職先
- 優しい心
- 恋人
- アンプ

【「その他」の回答】注：複数回答あり

- 祖父
- 椎名林檎
- リリーフランキー
- YUKI(歌手)
- 柔ちゃん
- オードリー・ヘプバーン
- ウォルトディズニー
- 計画的な人
- 愚痴らない人
- ナイチンゲール
- 三浦知良
- 浅井健一
- 糸井重里
- 先生
- 自分にないものを持った人すべて



※「親」の回答の内分けは、母親(9人) 父親(2人) 両親(6人)。母親人気!

「尊敬している人は?」という質問には、一番多かった「親」に次いで「先輩」と答えた人が2位となりました。サークルの部長さんへのアンケートだったこともあり、大学でも先輩と後輩のよい関係が築かれていることが伺えます。「一番ほしいものは?」という質問では時間と答えた方が37%。やはり忙しい大学生活には時間はいくらあっても足りないですね。

大3管士 川添 真佑子

## サークル便り ジアスの活動

「ハチドリのはしずく」~カナダの原住民に伝わる物語です~ 森が燃えていました。森の動物達は我先にと逃げて行きました。でも、クリキンディという名のハチドリだけは水をくちばしに含み一滴ずつ火の上に落とします。それをみて動物達は笑いながら聞きました、「そんなことをしてどうなるというんだい?」クリキンディはこう答えました「私は私にできることをしているだけ。」

この話はこれで終わりではありません。森は完全に燃えてなくなってしまったのでしょうか?それとも...この物語の続きを描くのは私達です。私たちは環境問題について考えても大き過ぎて自分に出来ることなんか何もないと思いがちです。でも、身近な生活で出来ることがあることに気づいてください。出来る事から一緒にしていきましょう~!



11/10 狭山キャンパス通学路を総務課の人と一緒にゴミ拾い

両校舎で実施中! 資金不足でワクチンを投与できずに世界では今、1

### ニューズファイル

秋山教授に 名誉教授の称号授与

平成18年3月に退職した秋山堯教授に「東京家政大学名誉教授」の称号が授与されました。授与式は6月27日に行われました。



理事会室にて

千田助教授に 厚生労働大臣表彰



10月26日、栄養士の養成に貢献した功績に対し、「平成18年度全国栄養改善大会」において厚生労働大臣表彰を受けました。

大越教授に(財)日本教育研究連合会より表彰



8月24日、国語教育理論の実践化の功績を顕彰して、(財)日本教育研究連合会より表彰されました。

宇高教授に全国栄養士養成施設協会会長表彰



11月3日、栄養士の養成に貢献した功績を顕彰して、(社)全国栄養士養成施設協会会長より表彰されました。

学会奨励賞授与



8月4日、カウンセリングの学術的研究と実践的活動に獨創性を有し、カウンセリング学の発展に価値あるものと認められ、日本カウンセリング学会より表彰されました。

宮澤・青木(寿)・狩野教諭に 感謝状を贈呈

3月、平成17年度文部科学省委託事業「自然環境・放射線web」自然環境・放射線web「水を入れたペットボトルを用いて放射線物質の放射線を遮蔽」に対し、参加協力した3氏へ、(財)日本科学技術振興財団から感謝状が贈られました。

保健センター高橋主任に 学生相談学会奨励賞授与

5月22日、学生相談活動の模索・実践を続けた業績の顕著な功績を顕彰して、日本学生相談学会より表彰されました。

平成18年度、国際交流センター主催による左記研修が開催されました。

- ① イギリス：4 研修 40人
- ② カナダ：3 研修 27人
- ③ 韓国：1 研修 15人
- ④ ニュージーランド：1 研修 16人
- ⑤ オーストラリア：2 研修 29人
- ⑥ アメリカ：1 研修 3人
- ⑦ 国内研修 (箱根グリーンセミナー)：15人

### Poème

本当に簡単なこと  
あつそつと気がついた  
今を変えれば未来も変わる  
やりたいことをするには  
なりたいものになるには  
今をどう生きて  
今をどう変えるか  
今が未来に繋がっていく  
好きなことやろう

この詩は、私が好きな詩人「きむ」という人の詩です。「きむ」という人の詩で「未来を生きる」というけれど、そのためには「今を生きる」ことが大切なのだと思ひ知らされました。今の世の中、考えすぎて簡単なことを見失っているのではないかと思ひました。もっと素直に生きてもいいと言われているような気がしました。

きむの詩は私達の心にストリートに響く詩ばかりです。興味を持った方はHPにアクセスしてみてください。



http://hello-iroha.com 学生記者 短2 育恵 澤田友里